

## サステナビリティ推進体制

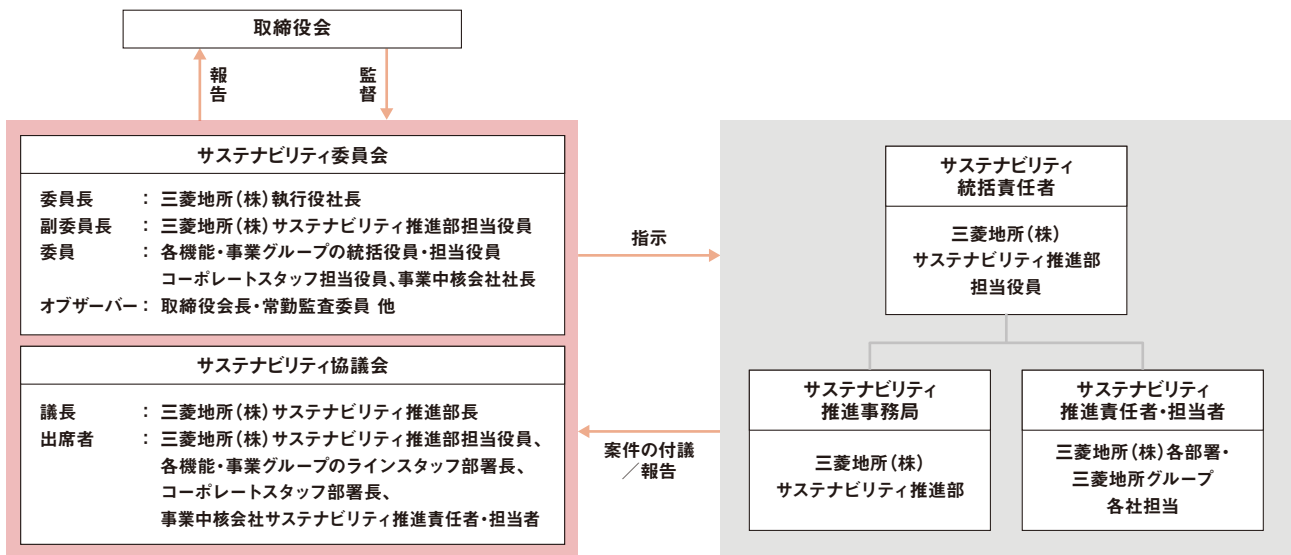
三菱地所グループでは、より積極的にグループ全体でサステナビリティの推進を図るため、三菱地所(株)執行役社長を委員長、サステナビリティ統括責任者を副委員長(三菱地所(株)サステナビリティ推進部担当役員)とし、各機能・事業グループの統括役員・担当役員、コーポレートスタッフ担当役員、主要グループ会社のトップ等で構成される「サステナビリティ委員会」を設置するとともに、その事前協議機関として「サステナビリティ協議会」を設けています。

「サステナビリティ委員会」は、原則年2回開催し、サステ

ナビリティに関する重要事項の審議・報告を行っています。また、これに先立ち、「サステナビリティ協議会」において事前協議・報告、事業グループ等におけるサステナビリティ推進活動に関する情報の集約を行っています。

「サステナビリティ委員会」の審議事項は、内容の重要度等を鑑み、必要に応じて「経営会議」への付議がなされます。また、「サステナビリティ委員会」の内容については、取締役会にて報告され、監督される体制となっています。

サステナビリティ推進体制図



## イニシアティブへの参加

### ● 国連グローバル・コンパクトに署名

2018年4月に、三菱地所グループは、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト」に署名しました。三菱地所グループは「人を、想う力。街を、想う力。」をブランドスローガンに、まちづくりを通じて社会に貢献することを基本使命に掲げています。今後は、この使命とともにグローバル・コンパクトが示す「人権の保護」「不当な労働の排除」「環境への対応」「腐敗の防止」などの10原則を支持し、三菱地所グループの事業に即した目標および指針を策定して経営のPDCAサイクルに活用することで、持続可能な社会の発展に貢献していきます。



### ● Science Based Targets (SBT) の認定取得

2019年4月に、三菱地所グループが、脱炭素社会の実現に向けて策定した、グループ全体の温室効果ガスの中長期排出削減目標が、パリ協定の2°C目標を達成するための科学的知見と整合した水準として、SBTイニシアティブより認定されました。



## ● RE100への加盟

2020年1月31日に、事業で使用する電力の再生可能エネルギー100%化にコミットする協働イニシアティブである「RE100」へ加盟しました。



## ● TCFD提言への賛同

2020年2月3日に、TCFD提言への賛同の表明を行いました。今後、TCFDが提言する情報開示フレームワーク（気候変動のリスク・機会に関するガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標）に沿った開示を進めるとともに、気候変動に関するガバナンスや事業戦略の更なる強化を目指します。



📖 P24 「TCFD提言に基づく情報開示」もご覧ください。

## ESGインデックス選定・外部評価等の状況

三菱地所（株）は、下記のESGインデックス（社会的責任投資指数）等に選定されています。（2020年12月10日時点）  
社会的責任投資とは、企業への投資を行う際に、経済面に加え、環境・社会への取り組みやコーポレート・ガバナンスを評価基準に取り入れる投資手法です。これからも事業とサステナビリティを一体的に推進し、持続可能な企業経営を追求していきます。

- 「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」
- 「FTSE4Good Global Index」19年連続
- 「FTSE Blossom Japan Index」4年連続
- 「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」4年連続
- 「MSCI日本株女性活躍指標」3年連続
- 「S&P/JPXカーボンエフィシエント指数」3年連続
- 「SOMPO Sustainability Index」9年連続
- 「GRESB Public Disclosure」4年連続
- 「GRESBリアルエステイト評価 2020」
  - 「GRESBスタンディング・インベストメント・ベンチマーク」※1において「5スター」取得
  - 「GRESBディベロップメント・ベンチマーク」※2において「4スター」取得
- ※1 既存物件ポートフォリオに関する評価
- ※2 新規開発・大規模改修ポートフォリオに関する評価
- 「CDP気候変動質問書2020」において最高評価「Aリスト」



## 環境不動産認証取得への取り組み

三菱地所（株）では、不動産における社会・環境配慮に取組み、積極的に発信を行っています。今後も、環境配慮型ビルへの期待や関心の高まりに応え、価値ある不動産の開発に取り組むとともに、テナントや投資家の皆さまをはじめステークホルダーへの訴求を目指していきます。

「DBJ Green Building 認証」「CASBEE（建築環境総合

性能評価システム）」等、三菱地所グループにおける環境不動産認証の取得状況は、以下をご覧ください。

📖 P37 「ESGデータ」